

海老名市下水道総合計画(改定版)概要[案]

計画期間 10年間(令和4年度から令和13年度まで)

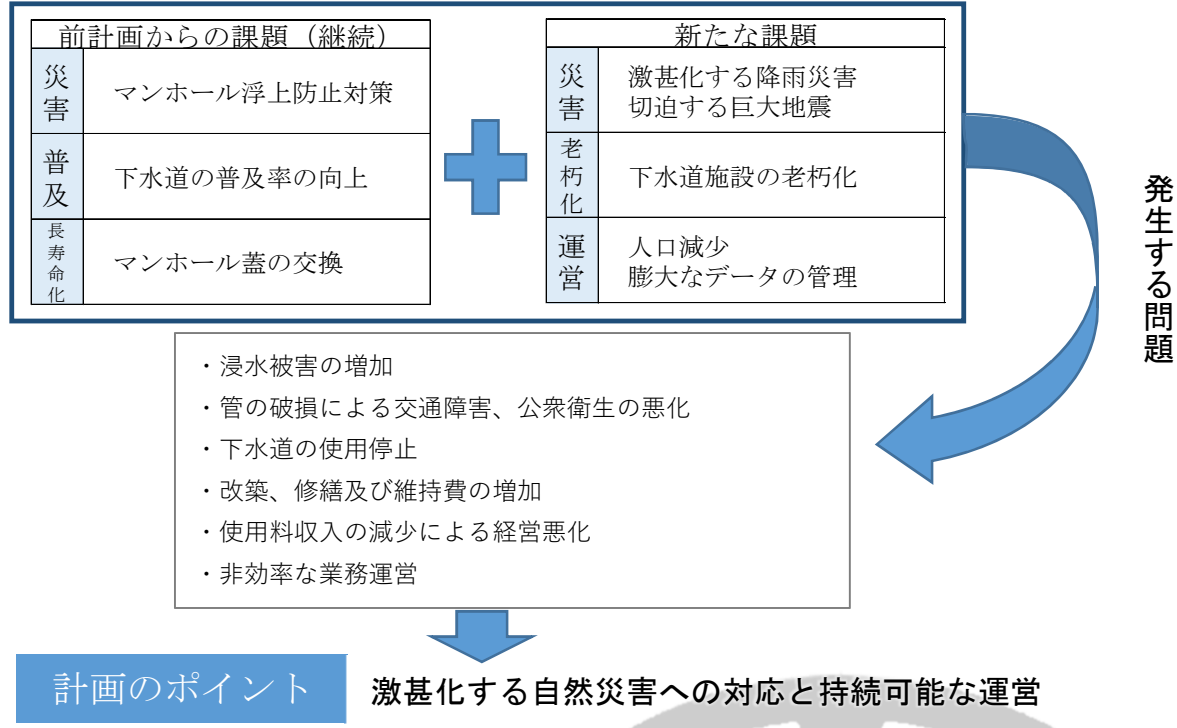
第1章 計画の目的と位置付け

本計画は海老名市の下水道事業の中期的な目標を示すことを目的とし、本章では、他分野の計画との関連性や位置付け、海老名市公共下水道総合地震対策計画などの下水道関連計画について示します。

第2章 下水道事業の概要

本章では、下水道の役割や定義、海老名市の雨水や汚水の整備率などについて示します。

第3章 下水道の課題



第4章 基本理念と基本方針

基本理念

『未来へつなぐ下水道の持続と進化』と設定し、

基本理念を実現するための基本方針を設定しました。

- I 安全・安心なまちづくり
- II 次世代へつなぐ自然環境と施設の保全
- III 持続可能で効率的な下水道運営

第5章 個別施策と管理指標

基本方針を達成するための個別施策を設定し、主な取組について示します。また、事業の進捗を図るための管理指標を設定します。

- 1 水害対策の推進
- 2 地震対策の推進
- 3 施設の適切な改築・修繕・維持
- 4 生活排水の適正処理
- 5 水循環の推進
- 6 安定した下水道事業の運営
- 7 デジタル技術による業務の効率化



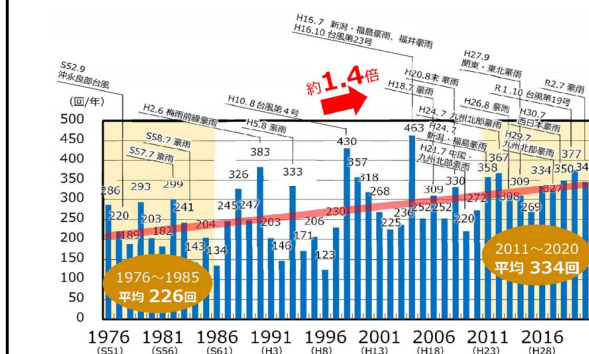
第6章 重点施策

個別施策のうち、計画のポイントに深く関連する施策を重点施策と位置付けました。

水害対策の推進

1時間降雨量50mm以上の降雨の平均年間発生回数は、約30年前と比べて約1.4倍に増加しています。

雨水管きよの整備には多くの事業費と時間がかかるため、早期に対策を行うには、現在行っている1時間あたり50mmの計画降雨に対する整備とともに、地区ごとに浸水リスクを踏まえた効果的かつ効率的な対策を行うことが必要です。



1時間降雨量50mm以上の降雨の年間平均発生回数

地震対策の推進

海老名市は大規模地震の震源断層が複数存在する地域にあり、発生確率の高いものについては30年間で70%となっています。

下水道施設は被災時においても公衆衛生の保全といった役割を求められます。しかし、機能の確保を耐震化のみで行うには膨大な時間と費用を要するため、耐震化のほか、万が一被災した場合の被害の最小化(減災)についても、併せて取り組むことが効率的です。

施設の適切な改築・修繕・維持

海老名市の下水道施設は、今後、耐用年数である50年を迎える管きよが増え、破損等による影響が懸念されます。

異常や故障に至る前に早期発見し対応する「予防保全」を行うことで、施設の延命化を図りながら陥没事故等の発生を未然に防ぎ、コストの削減及び平準化を図ることが必要です。

▼課題

▼個別施策の主な取組

▼管理指標

【基本方針Ⅰ】
安全・安心のまちを支える
下水道

施策方針

- 1 管路施設の地震対策
- 2 台風等の大雨に対する浸水対策

激甚化する降雨災害

切迫する巨大地震



【基本方針Ⅱ】
豊かな自然環境を守る
下水道

施策方針

- 1 下水道未整備区域の生活排水対策
- 2 下水道資源の利用

下水道施設の老朽化

【基本方針Ⅲ】
持続可能で効率的な
下水道

施策方針

- 1 下水道施設の老朽化対策の実施
- 2 効率的な下水道事業の経営

人口減少

膨大なデータの管理

基本理念

『未来へつなぐ下水道の持続と進化』

災害時

【基本方針Ⅰ】
安全・安心なまちづくり

個別施策

- 1 水害対策の推進
- 2 地震対策の推進

【概要】
公共下水道は市民の生命や財産を守る重要な社会基盤のひとつです。平時はもとより、豪雨による浸水被害や、大規模地震への対策に取り組み、安全安心なまちづくりに貢献します。

日常

【基本方針Ⅱ】
次世代へつなぐ
自然環境と施設の保全

個別施策

- 3 施設の適切な改築・修繕・維持
- 4 生活排水の適正処理
- 5 水循環の推進

【概要】
公共下水道の整備促進は、公衆衛生の向上や河川水質の保全に大きく貢献しています。施設の適切な改築、修繕及び維持を行うことにより水循環社会の形成を促進し、次世代につなぎます。

運営

【基本方針Ⅲ】
持続可能で効率的な
下水道運営

個別施策

- 6 安定した下水道事業の運営
- 7 デジタル技術による業務の効率化

【概要】
公共下水道の機能を継続して提供するには安定した経営が欠かせません。快適な市民生活を支え続けるため、引き続き健全な経営状態を維持し、効率的な下水道の運営を行います。

- 1
 - 1 (仮称)海老名市雨水管理総合計画の策定
 - 2 想定最大規模降雨に応じた内水浸水想定区域の見直し
 - 3 雨水管きょ等の整備
 - 4 雨水貯留施設等の整備
 - 5 下水道施設（雨水）の保守・清掃等
 - 6 樋門等の操作マニュアルに基づく訓練

重点施策

(仮称)海老名市雨水管理総合計画の策定
想定最大規模降雨に応じた内水浸水想定区域の見直し
最終目標(R5) 【策定】

都市浸水対策達成率の向上
基準値(R3) 【43.2%】
中間目標(R8) 【44.2%】
最終目標(R13) 【45.2%】

- 2
 - 1 管きょ等の耐震化（可とう性継手等の設置）
 - 2 下水道BCPに基づく定期的な訓練
 - 3 海老名市公共下水道総合地震対策計画の定期的な見直し

重点施策

可とう性継手等の設置
基準値(R3) 【88箇所】
中間目標(R8) 【213箇所】
最終目標(R13) 【338箇所】

下水道BCPに基づく定期的な訓練
年間目標 【1回/年】
中間目標(R8) 【5回/5年】
最終目標(R13) 【10回/10年】

- 3
 - 1 スtockマネジメント計画に基づいた施設の点検・調査
 - 2 スtockマネジメント計画に基づいた施設の改築・修繕
 - 3 下水道施設の保守・清掃等
 - 4 流域下水道接続点における流量調査の実施

重点施策

Stockマネジメント計画に基づいた施設の点検・調査〔汚水〕
年間目標 【16km/年】
中間目標(R8) 【80km/5年】
最終目標(R13) 【160km/10年】

Stockマネジメント計画に基づいた施設の改築・修繕〔汚水〕
年間目標 【270m/年】
中間目標(R8) 【1,350m/5年】
最終目標(R13) 【2,700m/10年】

- 4
 - 1 下水道未普及地域の汚水管きょ等整備
 - 2 下水道施設（汚水）の保守・清掃等
 - 3 市民・事業者との協働推進

下水道処理人口普及率の向上
基準値(R3) 【96.2%】
中間目標(R8) 【96.7%】
最終目標(R13) 【97.2%】

- 5
 - 1 雨水浸透施設による地下水の涵養
 - 2 事業場排水の水質調査の実施

雨水浸透施設の設置促進や適切な管理のPR活動
年間目標 【2回/年】
中間目標(R8) 【10回/5年】
最終目標(R13) 【20回/10年】

- 6
 - 1 健全な経営状況の維持
 - 2 (仮称)海老名市雨水管理総合計画に基づく計画的・段階的な雨水整備の推進
 - 3 Stockマネジメント計画に基づいた施設の点検・調査（再掲）
 - 4 Stockマネジメント計画に基づいた施設の改築・修繕（再掲）

経常収支比率
基準値(R3) 【100%以上】
中間目標(R8) 【100%以上】
最終目標(R13) 【100%以上】

- 7
 - 1 下水道台帳システムを活用したStockマネジメント計画等の反映
 - 2 管路施設の遠隔監視・操作

下水道台帳システムへのStockマネジメント計画の反映
年間目標 【16km/年】
中間目標(R8) 【80km/5年】
最終目標(R13) 【160km/10年】

※「個別施策の主な取組」の太字は、管理指標を定めて計画の進行管理を行うものです。